

4. 学 校 紹 介

佐倉市立幼稚園

小学校

中学校

佐倉市立佐倉幼稚園



東田園長

【園長先生から一言】

大正2年創立。97年目を迎えます。庭園のシンボルツリー「とちの木」は雄大にそびえ園児を見守っています。子どもたちが、豊かな体験を通して、優しく、たくましく、自信を持って園生活が送れるよう、愛情と規律を持って育てていきます。また保育園、小・中学校、高齢者、地域等の交流を進め、人間関係を深めるとともに『言葉』による伝えあいを大切にしていきます。

【今年度の教育目標】

『幼稚園生活を通して、生きる力の基礎を育成する』

- ◎明るく元気な子ども（返事や挨拶がきちんとできる子）
- ◎最後までがんばる子ども（先生や友達の話をきちんと聞ける子）
- ◎みんなと仲良くできる子ども（出来事や思いを言葉で伝えることができる子）

佐倉市立和田幼稚園



岩井園長

【園長先生から一言】

本園は昭和48年に創立し、今年度で37年目。佐倉市南部、自然豊かな地域の中で、和田小学校に併設しています。運動会や、避難訓練等の行事は合同で行うとともに、1～2年生との交流を多くし、幼少でのゆるやかな接続を図っています。園児数は14名。小さい園ですが、キラリと光る幼稚園となるよう保育活動を行っています。地域の2～3歳児への園開放日も設け、開かれた園として進めています。

【今年度の教育目標】

『物事に意欲的に取り組み、自己充実していくことのできる子どもに育てる』

- 心身ともに健康な子ども（健康・たくましさ）
- 明るく情操豊かな子ども（明るさ・やさしさ・感動）
- 友達となかよく遊べる子ども（思いやり・協力）
- 我慢強い子ども（よく考える・努力）

佐倉市立弥富幼稚園



【園長先生から一言】

本園は在籍数15名と小規模の幼稚園です。弥富小学校と併設しているため、合同で実施する行事が多くあります。園庭が広く四季折々に花が咲く樹木が植えられており、すばらしい環境のなか、地域の2,3歳児の交流も深めています。幼稚園、小学校、2,3歳児との連携を計画的に行うことで、小規模園ならではの特徴を生かした保育をし、人間関係の幅を広げながら、こころのやさしい子に育てていきます。

【今年度の教育目標】

「豊かな人間性や社会性の基礎を培い、心身ともに健康な幼児を育てる」

◎こころのやさしい子

- ・思いやりがある子ども
- ・協調する子ども
- ・生命の大切さがわかる子ども
(生活の中で道徳性の発達を促す)

◎たくましい子

- ・元気に遊ぶ子ども
- ・自分のことは自分でできる子ども
- ・頑張りのきく子ども
(心身の健康や体力と幼児自身の自立)

佐倉市立佐倉小学校



【校長先生から一言】

歴史と伝統に支えられ、624名の子どもたちの「希望の登校、満足の下校」のために、教職員一同、力を尽くして教育活動を進めていきます。わかるまで学習に励み、健やかな体をつくり、一人ひとりの胸に、優しい、あたたかい、慈しみの心が、大きく大きく育ってくれることを願っています。

保護者の皆様を始め、多くの地域の皆様に支えられて、毎日を送っています。

【今年度の教育目標】

『自ら学ぶ力をそなえた、心豊かなたくましい子どもの育成』

- よいあいさつをする子
- すすんで学習する子
- すすんで体をきたえる子
- なかよく助け合う子

【まごころ教育の推進】

知恵と力と勇気を備え、心身ともに健全で、心やさしい人間性豊かな子どもたちの育成をめざしていきます。

佐倉市立内郷小学校



【今年度の教育目標】
『未来をになう子の育成』
《めざす学校像》

保護者・地域に信頼され、ともに
歩む学校



【校長先生から一言】

本校は印旛沼の南にあり、豊かな自然と岩名運動公園、草ぶえの丘、国立歴史民俗博物館、佐倉ふるさと広場などの公共施設に恵まれた、申し分のない学習環境の中にあります。地域の皆さんが昔から学んできた学校として、宝物のように大切にされている創立102年目の学校です。このような環境と地域に育った子どもたちは、とても元気で明るく、思いやりがあります。

《めざす児童像》

- 進んで学ぶ子 (知)
- 心のあたたかな子 (徳)
- 元気に体をきたえる子 (体)

佐倉市立臼井小学校



【今年度の教育目標】
『かしこい子どもの育成』
めざす児童像

- 勉強する子
- やさしい子
- 元気な子



【校長先生から一言】

今年で創立138年を迎える臼井小学校は印旛沼の畔にあり、豊かな自然に恵まれています。また、臼井城の宿場町として栄えた歴史ある地域の中に位置しています。歴史学習や豊かな自然を生かした学習など、すばらしい体験を通じた学習ができます。地域全体で子ども達を守り育てる体制がしっかりとできています。その中で、地域を愛する元気いっぱい、やさしいいっぱい子ども達を育てたいと思います。

今年度の重点

- 確かな学力を育む
- 社会性を育む
- きれいな学校をつくる

佐倉市立印南小学校



【今年度の教育目標】

「豊かな心を持ち、自ら考え行動する、
たくましい印南っ子」

- 《めざす児童の姿》一人一人が輝く楽しい学校
- ・考える子（進んで学び、豊かに表現できる子）
 - ・思いやる子（やさしく思いやりのある子）
 - ・元気な子（心も体もたくましい元気な子）



江尻校長

【校長先生から一言】

印南小学校は、堀田藩最後の藩主正倫侯が慶応元年に佐倉藩成徳書院の江原校として始まった由緒ある学校で、145年目の学校であります。今でもよき学舎として子どもたちの笑顔いっぱい元気いっぱいの学校です。今年も県の体力づくりの研究指定をいただき4年目を迎え、ますます充実した教育を推進しています。体育を通じてさわやかな子、明るく元気な子、がんばれる子、そんな子を育てられたら素晴らしいと考えています。

重点目標

- ・基礎基本、学力の定着
- ・ふれあい活動の充実
- ・運動に親しむ態度や能力の育成
- ・勤労観の育成
- ・佐倉学を中心とした人材の活用

佐倉市立千代田小学校



大迫校長

【校長先生から一言】

千代田小学校は「歴史」と新旧の「文化」や「地域」が融和された開校138年目を迎える学校です。

学校は自然が豊かで、子どもたちの元気な声と笑顔があふれています。

平成元年より、佐倉市の代表校としてオランダのアンネフランクスクールと友好を深めながら、国際理解教育にも力を注いでいます。交流体験活動は、異文化理解や外国語教育の実践の場となっています。

【今年度の教育目標】

「かしこい子 やさしい子 たくましい子」の育成

— あいさついっぱい 歌声いっぱい 笑顔いっぱい 花いっぱいの学校で —

＜教育活動 5つの約束＞

- (1) 学力向上のために授業改善を図ります。
- (2) 豊かな心をはぐくむ教育を推進します。
- (3) 健やかでたくましい身体を育てる教育の推進をします。
- (4) 安全・安心な学校、清潔な学校づくりに努めます。
- (5) 保護者・地域と連携し、地域に開かれた学校づくりをします。

佐倉市立上志津小学校



【校長先生から一言】

志津小学校から分離して、50年目を迎えます。その周年行事のために、実行委員会を立ち上げる年となります。卒業生6300名余りの想いを結集して、思い出に残るすばらしい事業にしたいと考えています。

今年度は、耐震工事が予定されるために、例年秋に行っていた運動会は1学期に実施します。工事で頑強になる校舎に負けたくましい588名の子どもたちを育てます。

【今年度の教育目標】

「豊かな心をもち、自ら学ぶ意欲のある児童の育成」を教育目標にして、「かがやけ上志津っ子」達成のための4つの児童像（かしこい子、がんばる子、やさしい子、けじめのある子）を掲げます。年度末には、子どもたちが自己評価を行い、それによって4種類の金メダル付きの賞状を獲得できるようにします。また、学校評価で低かった項目（適切な言葉遣い、持ち物の整理整頓等）は、保護者や地域の方との連携を「双方向」と位置づけながら、より評価を高めるための指導体制を保護者・地域と一緒に整えます。

佐倉市立志津小学校



【校長先生から一言】

今年度、創立137年目を迎える志津小学校です。明るく素直で元気に挨拶できる子どもたちです。保護者、地域の皆様方は積極的に学校を支援してくださっています。各防犯団体の方々による子どもの見守り活動、ボランティアの方々による本の貸し出し、修理、読み聞かせの活動を始め、PTA活動もさかんです。

私たちは、社会に出るための基礎をしっかりと子どもに身につけさせたいと思います。

【今年度の教育目標】

「豊かな人間性を育み、自分の良さや個性を見つけ、共に伸びようとする児童の育成」
しづっこ（志津っ子）－『し』っかり聞いて話せる子『づ』つながりを大事にする子
『っ』つよい体をつくる子『こ』ころ配りのできるやさしい子－

教育目標を「しづっこ（志津っ子）」と関連させて指導してきた結果、これらが児童に浸透してきています。「命を大切にし、いじめや差別のない学級づくり」を最重点とし、今年度も、「しっかり聞く」とともに「自分の考えを話す、表現する」ということに力をいれて指導していきたいと思います。

佐倉市立下志津小学校



【校長先生から一言】

明日のために「今」を精一杯生きる（鍛え・学び・考え・行動する）子どもに育ってほしいと思っています。小学校での様々な「学び」は人が一生学び続けるための大事な「根っこ」です。大地にしっかり根づく丈夫な「根っこ」をみんなの知恵と力を借りて、子どもたちと一緒ににつくっていきたいと考えています。

【今年度の教育目標】

『たくましい気力と思いやりを持って活動できる児童の育成』

【めざす児童像】

①進んで学習する子 ②仲良く助け合う子 ③進んで身体をきたえる子

【経営の重点】

- ①学習指導の充実を図る（わかる授業の実践、移行措置の円滑な実施）
- ②生徒指導の充実を図る（児童理解と教育相談活動の充実）
- ③特別支援教育の充実を図る（特別支援教育推進委員会の活性化）

佐倉市立南志津小学校



【校長先生から一言】

緑豊かで広い校庭ときれいな花が咲き誇るうるおいのある学校で、今年で開校37年目を迎えました。地域推進会議を中心に地域活動への児童参加、学校教育への地域住民参加という双方向の交流により教育活動の充実を図っています。子どもにとって安全で安心な学校、楽しくて魅力的な学校づくりを推進します。『あたりまえのことがあたりまえにできる子どもの育成』を推進します。

【今年度の教育目標】

『自ら学び、心豊かでたくましい児童の育成』 ～かしこく、やさしく、たくましく！～

明るく元気にあいさつできる子ども（**元気**）・自ら進んで力いっぱいがんばる子ども（**やる気**）・最後まであきらめずにやり抜こうとする子ども（**根気**）・相手の立場になって思いやり、友達となかよくできる子ども（**優気**）

めざす児童像はこの4つの「気」、言い換えれば知・情・意・体の調和のとれた子どもの育成が主眼です。そのためには「子どもの視座」を常に意識した教育活動を展開します。

佐倉市立根郷小学校



【校長先生から一言】

校訓「進取の心」を学校経営の柱に、「佐倉学・国語・算数」の研究を推進します。

また、児童・教師・家庭・地域が組織的に連携しながら学ぶことの大切さを知ったり、新しいものに積極的に挑戦したりします。

「根郷子ども宣言」の実践化を図り、本校創立139年目を616名の児童と共に築いていきたいと思っています。

【今年度の教育目標】

『実践力のある個性たくましい児童の育成』

めざす児童像

(知) 笑顔がいっぱい・・・進んで学び、わかる楽しさを感じる子

(徳) 花がいっぱい・・・友だちを大切に、思いやりの花を咲かせる子

(体) やる気がいっぱい・・・進んで行動、元気に運動、自分を鍛える子

佐倉市立和田小学校



【校長先生から一言】

佐倉市南部の自然豊かな地域の学校です。三世代の家庭多く、人への思いやりがあり、課題に一生懸命取り組む子どもたちです。児童数は103

名ですが、和田幼稚園を校内に併設し、幼小の連携交流や縦割り活動を中心とした異学年交流を行っています。今年度は創立100周年の年となり、記念式典の開催を契機とし、学校や地域の歴史、伝承、文化に触れ、故郷和田を大切に作る心を育てていきます。

【今年度の教育目標】

学校教育目標 創立100周年・心豊かに生き生きと活動する児童の育成
『みんな なかよく たくましく』

めざす児童像

【和】 わかるまで根気よく学ぶ子

【田っ】 たくましく体をきたえる子

【子】 心やさしい思いやりのある子

佐倉市立弥富小学校



山本校長

【校長先生から一言】

本校は農村地帯にあり協力的な地域の人々と豊かな自然に恵まれています。まさに地域に支えられている地域立の学校です。平成20年度に市内どこからでも転入学が可能となる小規模特認校に指定され、現在、弥富地区以外から9名の児童を受け入れております。全校児童71名という少人数の利点を生かし、特に算数では一人一人の児童にきめ細かな個別指導を充実させ学力の向上を図ってまいります。

【今年度の教育目標】

『学び合う子』 ー感じる 考える 関わるー

日常生活全般の中で、五感を通して疑問を持ち、課題解決のために情報を取捨選択し、考えたことを言葉や文字に表現し、他と関わり互いに磨き合いながら自他の尊重、協働の精神を涵養してまいります。

【今年度の重点目標】

1. 明るい挨拶、元気のよい返事ができる子どもを育てます。
2. 常にめあてを持ち、時と場に応じた適切な行動をすることができる子どもを育てます。
3. 家庭学習のできる子どもを育てます。

佐倉市立井野小学校



木原校長

【校長先生から一言】

「長割の 若葉の丘に 集まりて」、これは本校校歌の一節です。縄文後晩期（4000年～3000年前）の遙か昔が偲ばれる井野長割（いのながわり）遺跡（約66,000㎡）が眠るなだらかな丘、ちょうどその中心に建つ珍しい学校で、井野っ子山と称して子どもたちの夢を育んできた学校林も今は国指定史跡の一部。見上げるほどの「コナラ」や「クヌギ」の雑木林が歴史を語り伝える学校でもあります。

【今年度の教育目標】

『生きる力を自ら積み上げる井野っ子の育成』

目指す児童像

- ◎夢を持ち、やる気がいっぱいの子ども（楽しく学ぶ子）
- ◎気づいて行動し、誠実に取り組める子ども（気づき行動する子）
- ◎友達を大切にし、笑顔のあふれる子ども（やさしい子）

マニフェストと日常活動

- ・言葉を丁寧に学ぶ子にします。（七五三読書、群読、長割俳句）
- ・返事、挨拶のしっかりできる子にします。（井野っ子粋な仕草、55運動）
- ・仲良し遊びで心身を鍛える子にします。（みんなの時間、縦割り活動）

佐倉市立佐倉東小学校



【校長先生から一言】

創立36年目を迎えました。深い緑に囲まれ、元気いっぱい走り回る児童たち、常に学校のことを第一に考え協力いただける地域の方々、とても恵まれた環境にある佐倉東小学校です。昨年度から「キャリア教育」の佐倉市研究モデル校となりました。今年度は6年生が職場体験を通して生き方を学びます。知・徳・体のバランスのとれた教育を教職員が全力で取り組んでいます。

【今年度の教育目標】

『人間尊重の精神に富む豊かな心と正しい判断力をもち、
進んで学び実践できる児童の育成』

○目指す学校像 花が咲くきれいな学校

挨拶が交わされる学校

笑顔があふれる学校

やる気がいっぱいの学校

○目指す児童像

進んで学習に取り組む子

仲良く助け合う子

進んで運動する子

佐倉市立西志津小学校



【校長先生から一言】

本校の自慢は「響け！1100人パワーの美しい歌声」と「読書大好き“西志津っ子”」です。年6回の歌声集会では、各学級で練習した「月の歌」を全校で合唱し1100人の迫力を体感すると共に、各学年が特色を生かした美しい学年合唱を奏でます。読書活動では、「読書大好き図書りんびっく」や地域・保護者2000人余りが参加する「図書まつり」等を開催し「文化の薫りがする学校」づくりに努めています。

【今年度の教育目標】 『思いやりのところをもち 知性豊かなたくましい子ども』

めざす児童のすがた

おもいやり：人の痛みを自分の痛みと感同じることができ、自分以外の誰かを喜ばせたいと思い、時と場に応じた丁寧な言葉遣いや行動（挨拶）ができる児童

豊かな知性：自ら進んで知識や技能を習得し、修得したことを活かしよりよく課題を解決しながら、人（社会）のために役立てようとする児童

たくましさ：夢や目標に向かって、あきらめることなく、主体性（自覚と誇り）をもって全力で取り組み、失敗を恐れず常に挑戦する気持ちを忘れない児童

佐倉市立小竹小学校



【校長先生から一言】

豊かな自然に恵まれ、いつもきれいな花々で美しい教育環境と都市化された環境とがマッチした中で、子どもたちが元気いっぱい活動しています。今年は創立30周年を迎え、数々のイベントを通して本校の飛躍の年にしたいと思います。校歌にある『翔ぶぞ世界の空に』のように、未来に向かって夢を描いて学び自分を高めていって欲しいと思います。そして、学校、保護者、地域でさらに協力して児童の瞳の輝く学校をめざします。

【今年度の教育目標】

『夢をもち、たくましく生きる心豊かな小竹っ子の育成』

めざす学校像○元気な挨拶と笑顔いっぱいの学校 ○明るくきれいな学校

○歌声の響く学校

○授業のわかる学校

めざす児童像○【元気な子】よく働き、挨拶ができる心身ともにたくましい子

○【やさしい子】思いやり助け合いながら、感謝の気持ちを持って行動する子

○【考える子】よく考え、創造する力を身につけた知性豊かな子

佐倉市立間野台小学校



【校長先生から一言】

臼井地区由来の楠の木が多く植樹された公園併設の本校はちょうど創立30年目。記念する様々な行事を開催しながら児童と共に笑顔を絶やさず、ありがたい感謝と感じて動ける態度が育つ、488名の児童と29名の教職員の間野台ファミリーをめざします。美化ボランティアを始めとする保護者や、地域の方々の率先して取り組んでくださる姿を見て成長しつつある明るく元気な子どもたちです。

【今年度の教育目標】

『心豊かで進んで学ぶ、心身ともにたくましい子どもの育成』

自尊感情を高めつつ、“よさ”や“可能性”を引き出し、意欲をもって自己実現をめざして学ぶ、心身ともに健やかな子どもたちの伸長を図ります。

《めざす学校像》

「明るく、一人ひとりの子どもを大切にする学校」

「学年に応じて基礎基本の能力が育っている学校」

「校舎内外が学習の場にふさわしく整備され、美しく活動しやすい学校」

「元気な挨拶、元気な返事がいっぱいの学校」

佐倉市立王子台小学校



【校長先生から一言】

本校は創立27年目を迎える地域に根ざした学校です。本校の特色ある教育活動の一つに、野外活動があります。学校西側にある手繰川や佐倉西部地区の自然公園では植物、野鳥、昆虫等を中心に調べる学習が意欲的に展開され学区内在住の専門的知識を持った方々が、ボランティアとして学習を支援してくださっております。自然と人の関わりを学ぶ中から、郷土愛や感謝の心を育んでいきたいと思ひます。

【今年度の教育目標】

『一人一人のよさが発揮でき、学ぶ喜びを感じる楽しい学校づくり』

～思いやりの心を持ち 知性豊かなたくましい児童を育む～

思いやる子 (自分を大切にし、お互いを認め合い、支え合う子)

学び合う子 (自ら学び、良く聞き、考え、自分を高めようとする子)

たくましい子 (自分の健康に気づき、運動に親しみ、心身ともに成長する子)

知・徳・体の調和的発達を促すと共に、学校の教育活動全体を通じて「生きる力」を育てる。そのためにも、教職員組織を十分に機能させ、共通理解と共通実践に努める。

佐倉市立青菅小学校



【校長先生から一言】

本校は、自然に恵まれ、学校・保護者・地域が一体となった大変温かい雰囲気包まれた学校です。『おはようございまーす』児童会の挨拶運動から青菅小学校の一日がスタートします。本校は、「全校縦割り班活動」や「田植え・稲刈り」「ブックトーク」など保護者や地域の方との交流、福祉施設のユウカリ苑や優都苑との交流を通じた福祉教育の実践が特色です。教師と児童の心の通い合う人間関係を作り、思いやりのある児童を育てていきたいと思ひます。

【今年度の教育目標】

『豊かな心を持ち、自ら学び、たくましく生きる児童の育成』

＜めざす児童像＞

あ→明るいあいさつができる子

お→おもいやりのある子

す→進んで学ぶ子

げ→元気に運動する子

＜重点目標＞

①学ぶ意欲を高め、確かな学力の向上を図る。読書好きな児童の育成。

②思いやりを持ち、みんなと仲良くできる児童の育成。

佐倉市立寺崎小学校



大嶋校長

【校長先生から一言】

87名の新1年生を迎え、7年ぶりに4月の児童数が前年の4月の児童数よりも増え、402名になりました。全校児童が400名を超えるのも4年ぶりのことです。児童数が増えるのは、学校全体が活気づいてくるようで、幸せな気持ちになります。すべての児童が、仲良く、助け合って楽しい学校生活を送ることができるよう、全職員が力をあわせて指導・支援にあたっています。

【学校の教育目標】

『徳育・体育・知育の調和のとれた心豊かなたくましい児童の育成』

《めざす児童像》

- ・礼儀正しく温かい心を持った子ども
- ・健康で体力・気力のある子ども
- ・知的探求心の旺盛な子ども

《児童目標》

- ・思いやりがあり、助け合う子ども
- ・進んで運動する子ども
- ・進んで学習する子ども

佐倉市立山王小学校



川上校長

【校長先生から一言】

本校は平成元年に根郷小より分離独立して創設、一昨年20周年記念事業を行いました。周辺環境との調和、明るくゆとりある空間をもつ校舎等、恵まれた教育環境のもとで子どもたちはのびのびと学習活動に励んでいます。

スクールカラーは「コバルトブルー」、隣接の敬愛短大との交流や全校縦割り班による常時活動など、本校・地域の特性を活かした教育活動を推進して参ります。

【今年度の教育目標】

『自ら学ぶ力をもち心豊かでたくましい児童の育成』

【めざす児童の姿】

- ①勉学に励む子
- ②励まし合い、ささえ合って伸びる子
- ③健康でがんばる子

【児童との合い言葉】

- ①明るいあいさつ元気のしるし
- ②だまってそうじピッカピカ
- ③しっかり聞いて最後まで

佐倉市立染井野小学校



【校長先生から一言】

本校は、オープンスペースのよさを活かし、学年経営を重視した教育活動を実践しています。また、保護者、地域の皆様のボランティア活動が活発で、子どもたちのために多くのご支援を頂いております。

よい環境の中で、子どもたちがいきいきと学習に励んでいます。さらに、子どもたちにたくましさをつけるために、教職員が一丸となって指導にあたっております。

【今年度の教育目標】

『よりよい生き方をめざし進んで学ぶ、心豊かでたくましい子どもの育成』

「生きる力」の基盤となる「豊かな心」の育成と、自らのめあてに向かって主体的に取り組み、どんな困難なことにも逃げることなく乗り越える「たくましさ」の育成に努める。めざす児童像に次の5項目をあげる。①明るい挨拶をし、友達と仲良く協力し合う子②美と清潔を愛し、心を込めて仕事をする子③周りの人の気持ちを考えて行動する思いやりのある子④よく学び、努力によって力を高める子⑤体を鍛え、健康・安全に努める子。

佐倉市立白銀小学校



【校長先生から一言】

本校は、平成16年度に開校した佐倉市の中でも一番新しい学校です。地域の皆さんと連携した「佐倉市版のコミュニティスクール」を目指して取り組んでいます。多くの地域や保護者の方のご支援により、安心して明るく元気な学校運営が行われており、子どもたち一人ひとりを大切にしたい教育を実践しています。今年度は、これまで培ってきた実践を基に、日本や佐倉の伝統と文化を大切にしたい道徳教育に力を入れて取り組んでまいります。

【今年度の教育目標】『自ら学び、人間性豊かで、たくましく生きる子どもの育成』

日本や佐倉の伝統を生かした「好学進取と守・破・離の教育の実践」をテーマに、

- ①知識・技能はもとより自ら学び考える力を身につけ、その力を生活の中で活かす子ども
- ②お互いを認め合い、励まし合いながら、友だちと協力して物事を進める子ども
- ③運動することを好み、自分の健康や体力に関心を持って、友だちと一緒に元気に遊ぶ子どもを地域や家庭と連携して育ててまいります。

佐倉市立佐倉中学校



【校長先生から一言】

佐倉中学校は、昭和22年に開校し、本年度で64年目を迎えます。佐倉城址の一郭に位置し豊かな自然に囲まれ、歴史と文化の薫り高い環境で、生徒は意欲的に活動しています。昨年11月に新校舎が完成し学習環境も十分に整備されました。教職員一同、生徒の心の成長を支援し、校訓、「好学進取」を柱に「生きて働く力」を養わせ、明日の日本を担うにふさわしい人材を育てて参ります。

【今年度の教育目標】

「校訓『好学進取』のもと、自ら学び、自ら考える力をそなえた、心豊かなたくましい生徒の育成」

〈めざす生徒像〉

- 進んで学び、進路に向けて努力する生徒
- 自他ともに大切にして生活する生徒
- 奉仕の心で進んで働く生徒
- 礼儀正しく、きまりやマナーを守る生徒
- 健康・体力づくりに励む生徒

佐倉市立志津中学校



【校長先生から一言】

志津中学校の生徒達は、学習活動に、行事に、部活動に常に全力で取り組む活力あふれる生徒集団だと言えます。また、「あいさつをする・時間を守る・歌声を盛んにする・・・」などを「志津中五本柱」と定め、落ち着きと潤いのある学校生活を送っています。今年の夏には、一年間待ちわびた新体育館も完成します。更に充実した教育活動を展開し、全てのことに努力を惜しまず躍動する生徒達を目指します。

【今年度の教育目標】

進んで学び、心豊かなたくましい生徒の育成

- | | | |
|-----------|--------------------------|-----------|
| 〈進んで学ぶ生徒〉 | ○授業に真剣に取り組み、自ら学ぶ生徒 | (勤勉) |
| | ○自分の進路に向けて努力し続ける生徒 | (進路) |
| 〈心豊かな生徒〉 | ○礼儀正しく、自他共に大切にする生徒 | (礼儀・思いやり) |
| | ○よく働き、人に尽くす生徒 | (勤労・奉仕) |
| 〈たくましい生徒〉 | ○きまりやマナーを守り、節度ある行動ができる生徒 | (強い意志) |
| | ○健康・体力作りに励む生徒 | (健康・体力) |

佐倉市立上志津中学校



【校長先生から一言】

私が新米教員だった頃の本校は、勉学にスポーツ、そして文化面に優れ、近隣の地域から一目置かれる存在でした。今もその伝統は息づいていますが、往年の本校以上の学校にしたいと考え、教職員と生徒に合い言葉として「上志津中ルネサンス」を掲げています。また、地域の方々や保護者の団結が強く、下志津小と南志津小との連携も強固なので、地域で一丸となって健全な生徒を育成したいと思います。

【今年度の教育目標】

『自ら学び進んで体を鍛える心豊かな生徒の育成』

昨年度の学校評価を参考に今年度から上記の教育目標に改訂しました。「めざす生徒像」としては、①授業を大切にする生徒、②進んで家庭学習に取り組む生徒、③意欲的に体力の向上に取り組む生徒、④基本的な生活習慣が身についた生徒、⑤思いやりの心を持ち協力する生徒の五項目にしました。昨年度のめざす生徒像は、「四つの約束」（①さわやかなあいさつをする。②時間を守る。③人の話をよく聴く。④進んで隅々まで清掃をする。）とし、継続指導してまいります。

佐倉市立南部中学校



【校長先生から一言】

本校は市の南部に位置し、根郷、和田、弥富地区の中学校が統合して誕生しました。学区は市面積の4割を占め、その歴史は50年を数えます。本校では、生徒が自ら活動の場を広げ、人と交流する下地とするために「明るいあいさつ、大きな返事、さわやかな歌声」を生徒に求めています。また、生徒に地域の一員としての自覚を育てることをねらった地域ボランティア活動は本校教育の特色となっています。

【今年度の教育目標】

『勉学に精励し、心身共に自らを鍛える生徒の育成』

《めざす学校像》

生徒一人一人が学校生活に目標や楽しみを見出すことができる学校をめざします。それは、生徒が存分に自己の能力を磨くことができる学校であり、職員にとっては、自分に子どもがいれば、わが子を通わせたいと思える学校です。

《めざす生徒像》

- ①目標を持って学習する生徒
- ③正しい判断力と豊かな心を持つ生徒
- ⑤地域の活動に積極的に参加する生徒

- ②気力と体力を高める生徒
- ④校内美化に力を入れる生徒

佐倉市立臼井中学校



【校長先生から一言】

いつも「おはようございます」の元気な声が響き渡り、春先にはウグイスの鳴き声が聞こえる素敵な学校です。

生徒みんなの表情は穏やかで、伝統的に部活動が盛んです。教室からは毎日歌声が響き、建立34年目の校舎は意欲的な清掃活動にて美しい状態を保っています。

特に今年は『学力向上』を目指し、言語活動の充実を目指したいと思っています。文化・体育面でも更なる向上を期待しています。

【今年度の教育目標】

『知・徳・体の調和のとれた、自己を生涯にわたって教育しつづける意思や能力を持った心豊かで、たくましく生きる力を身につけた生徒を育成する。』

- (1) うつくしい学校づくりをめざし、思いやりに満ちた生徒を育てる。
- (2) すすんで学習し、学ぶ喜びを身につけた生徒を育てる。
- (3) いつも主体的に考えて行動するとともに、良さを生かす生徒を育てる。
- (4) 仲間と協力し、助け合える社会性豊かな生徒を育てる。

佐倉市立井野中学校



【校長先生から一言】

五つの伝統「明るい挨拶」「響く歌声」「きれいな校舎」「はつらつ健康」「高い学力」

を再確認し、着実な歩みを続けます。福祉教育の継続的な研究推進と、新たな教育課題への取り組みに努めます。小中連携をさらに深め、九ヵ年を見通した教育実践を推進します。

今年も、充実した学習・部活動を展開し、さらなる飛躍を期待します。常に、発展し続ける井野中でありたいと思います。

【今年度の教育目標】

『自立・協働・貢献ができる生徒を育成する』

他と共に生きていることを実感する体験や、わかる・できる喜び、楽しさの体験を通して、生徒の夢や希望を育むと共に、生徒と共に成長し続ける教師・学校づくりを目指します。

- | | |
|------------|--------------------------|
| (1) めざす生徒像 | 自他敬愛の心を持ち、共に努力向上しようとする生徒 |
| (2) めざす教師像 | 生徒の夢・志を育み、自己実現を支えられる教師 |
| (3) めざす学校像 | 地域の中に生きる学校 |

佐倉市立佐倉東中学校



【校長先生から一言】

佐倉東中は、今年度で創立24年目を迎えました。周囲が緑につつまれ、野鳥のさえずりが聞こえる落ち着いた環境にある学校です。

今年度特に力を入れていることは、生徒の思考力を育てながら、学力向上を目指していることと、新学習指導要領移行の趣旨を活かしながら、生きる力の基礎を身につけるように取り組んでいることです。

【今年度の教育目標】

『心豊かで、生きる力をそなえた生徒の育成』

～確かな学力 豊かな心 健やかな体 の調和をめざして～

《期待する生徒像》

- ・各教科の基礎・基本を身につけ、学習能力を高める生徒
- ・主体的に考え、表現できる創造性豊かな生徒
- ・感謝の心を持ち、礼儀正しい生徒 ・自他を大切にし、お互いを尊重する生徒
- ・正しく判断し行動する生徒 ・自らの心身をたくましく鍛える生徒

佐倉市立臼井西中学校



【校長先生から一言】

創立23年目の本校は、田園や木々に囲まれた緑豊かな自然環境の中に立地しております。子どもたちは明るく素直で元気のよい爽やかなあ

さつができます。本年度は「基礎学力の向上を図り、自分の考えや思いを積極的に表現できる生徒の育成を図るにはどうしたらよいか」の研究主題を設定し、全職員一丸となって授業実践に取り組んでまいります。また、家庭と地域の連携を図り、信頼される学校づくりを目指します。

【今年度の教育目標】

「自ら学び、自主的・自律的に生きる心豊かでたくましい生徒の育成を図る」を基本目標に、めざす生徒像を「①よく学習する生徒、②礼儀正しい生徒、③よく働く生徒、④心のやさしい生徒、⑤よく運動する生徒」とし、めざす学校像を「①しっかりと学びが保障されている学校、②いじめのない安心できる学校、③家庭・地域とともにあり、信頼される学校」、めざす教師像を「①使命感に燃え、常に愛情を持って生徒に接する教師、②ロマンを持ち、アイデアを生かし、率先して行動する教師、③授業に全力を尽くし、信頼され慕われる教師」としています。

佐倉市立西志津中学校



【校長先生から一言】

本校は創立23年目を迎え、生徒主体に行う行事やボランティア活動は、本校のよき伝統となっています。その上に立って、新たな伝統を築き上げていこうと日々生徒は、目標を持ち、学習や諸活動に、一生懸命に取り組んでいます。さらに全職員が一丸となって「生徒にとって通いたい学校、保護者・地域にとって通わせたい学校、職員にとって生き甲斐が持てる学校」にしていきたいと思います。

【今年度の教育目標】

『学ぶ喜びを知り、心身共に自らを鍛える生徒の育成』

〔めざす学校像〕

- ①明るく秩序のある学校
- ②「文武両道」をめざす活気ある学校
- ③礼儀正しい言動ができる学校
- ④個々の生徒の良さを認め、伸ばす学校
- ⑤美しい歌声が響く学校
- ⑥教育環境を大事にする学校
- ⑦小学校との連携及び家庭・地域社会との連携を大切にする学校

佐倉市立臼井南中学校



【校長先生から一言】

創立16年目を迎え、「学校は地域コミュニティの中核である」を基本理念として、『学校運営委員会』を組織して「地域との協働による学校運営」を目指しています。31名の教職員は、「すべては生徒のために」を合い言葉に日々の教育活動を展開しています。静かで緑豊かな環境の中で、367名の生徒は「あいさつ」を大切にし、高い「向上心」をもって、明るくのびのびと学校生活を送っています。

【今年度の教育目標】

『高い知性としなやかな感性を身につけ、たくましく生きる生徒の育成』

- 1 学校生活や社会で役立ち、人生を豊かにする「生きた学力」を育てる学校
 - 2 心身とも健康で、人生をよりよく生きるために必要な豊かな心と健やかな体を育む学校
 - 3 地域とともに歩む学校
- ＜めざす生徒像＞ ○好学進取 ○自主・自律 ○健康 ○共生と社会貢献

佐倉市立根郷中学校



ホームページ：<http://www.catv296.ne.jp/~nego-jh/>



井上校長

【校長先生から一言】

佐倉市で最も若い中学校です。校舎は佐倉南図書館と繋がっており、読書活動の充実に好影響をもたらしています。

本校は福祉教育に重点を置いており、隣接の福祉施設や千葉聾学校との交流をはじめ、福祉に関する講座を教育課程に組み込み、豊かな心を育成しています。

【今年度の教育目標】

『自らの考えや思いを心豊かに表現できる生徒の育成』

○言語活動を重視した授業や教育活動における重点

○教職員の指導力向上に向けた重点

○積極的な学校の公開等学校運営に関する重点

この3つの観点にそれぞれ5～6の重点項目を設け、教育目標の実現を図ります。

「心がかようさわやかな挨拶」「すがすがしい返事」「心までも磨く清掃」を当たり前の高揚として徹底して指導しています。